



籠山風景

子どもの頃、幾度となく登って遊んだ裏山(籠山)。蛇の輪(じゃのわ)があり、大人たちから「あの輪に入ったら帰れなくなるから、入るんじゃない」とその都度注意を受けた。入るなど言われたら入りたがるのが子ども。幾度となく挑戦した記憶はあるが、蛇の輪の中に入ったという記憶はない。40数年振りにUターンし、智頭町に居を構えたところ、富沢地区の有志50人余りの方々が、籠山を守り活用しようとして「かごやま会」を結成

し活動をされていた。町観光協会とタイアップし、毎年9月の最終日曜日にトレッキング大会を開催していると耳にしたので、早速その一員に加えていただいた。8月の暑いさなかのトレッキングコースの草刈り、そしてトレッキング大会と、年2回は籠山に登らせていただいている。なだらかな稜線、ススキの中を歩くと、心身ともに都会の騒音を忘れさせ、スリースも吹っ飛ばす。晴天の日は、鳥取砂丘や大山をも見える。こんな自然豊かで、素敵な山が身近にある、当地に生まれ育ったことに感謝したい。だが、今日「蛇の輪」は見られない。緑の立ち木ばかり目につき、あのススキ(カヤ)の山肌は?

蛇の輪伝説には、豊乗寺の蛇の池伝説と、昔、木地師が自分たちの縄張りのしるしとしてカヤを丸く植えたとのふたつの説があるようだ。



籠山トレッキング

どちらにしても、今「蛇の輪」が存在したならば(見えれば)、大きな観光スポットとして富沢の活性化、町の活性化に活用できるのではないだろうか。「蛇の輪」再興にチャレンジしてみたい、そんな想いが募る昨今です。

町議会議員の方々も、町内で眠っている資源開発に一役買っていたいただき、智頭町が「住みやすい町」「住みたい町」になるようご尽力をお願いします。智頭町民の皆様、籠山に

年1回は、登ってみてください。



## 編集後記

新しい広報委員会になって初めての議会だよりの編集でしたが、内容はいかがだったでしょうか?この度から、一般質問を1人1ページにしたり、陳情の審議結果に意見を添えたり、中身の充実を図りました。

これからもさらに工夫をして、町民に読まれる広報誌づくりを心がけて参ります。

また、議会だよりを配るだけでなく、議会広報委員が地域に出掛け、説明を行う出前広報も引き続き行っていきます。ご希望の方は、お気軽に議員及び議会事務局に声をかけてください。(中野)

## 編集 議会広報常任委員会

委員長 中野ゆかり  
副委員長 高橋 達也  
委員 大藤 克紀  
委員 岩本富美男  
委員 南 肇  
発行責任者 議長 谷口 雅人